

# 健康づくりの主人公はあなたです。

目標達成に向かって健診、講座などの保健事業にご参加を！

## ■事業の評価項目及び目標(抜粋版)

第2期データヘルスにおいて重点的に取り組む事業について、当支部における各事業の評価項目及び目標値を次のとおり設定しました。

なお、目標値については、健康日本21(21世紀における国民健康づくり運動)等を参考にしています。

評価項目	公立学校共済現在値 (平成27年度)	当支部現在値 (平成27年度)※	当支部目標値 (平成35年)	
特定健康診査受診率	80.7%	80.5%	90.0%	
特定保健指導実施率	18.0%	12.4%	45.0%	
40歳未満の人間ドック受診者数(受診率)	—	12.9%	15.8%	
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	該当者11.5% 予備群11.2%	該当者15.1% 予備群12.2%	該当者11.5% 予備群11.2%	
脂質異常症の減少 (LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合)	男性13.6% 女性12.9%	男性9.6% 女性9.4%	男性8.3% 女性8.8%	
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1cがJDC値8.0% (NGSP値8.4%)以上の者の割合)	0.8%	0.6%	0.5%	
生活習慣の変化	食習慣 ①「人と比較して食べる速度が速い」の回答が「速い」の人の割合 ②「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある」の回答が「はい」の人の割合	①43.6% ②18.5%	①38.3% ②17.4%	①35.3% ②15.5%
	運動習慣 「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している」の回答が「いいえ」の人の割合	76.5%	78.9%	66.1%
	飲酒習慣 「飲酒日の1日当たりの飲酒量が男性2合以上、女性1合以上」の人の割合	男性12.3% 女性5.9%	男性14.8% 女性6.9%	男性13.2% 女性6.2%
	睡眠・休養 「睡眠で休養が十分とれている」の回答が「いいえ」の人の割合	43.0%	39.1%	34.1%
	喫煙習慣 「現在、たばこを習慣的に吸っている」の回答が「はい」の人の割合	12.0%	14.6%	12.0%
健康意識の変化	「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか」の回答が「まだ開始していない」人の割合	75.9%	76.1%	72.8%

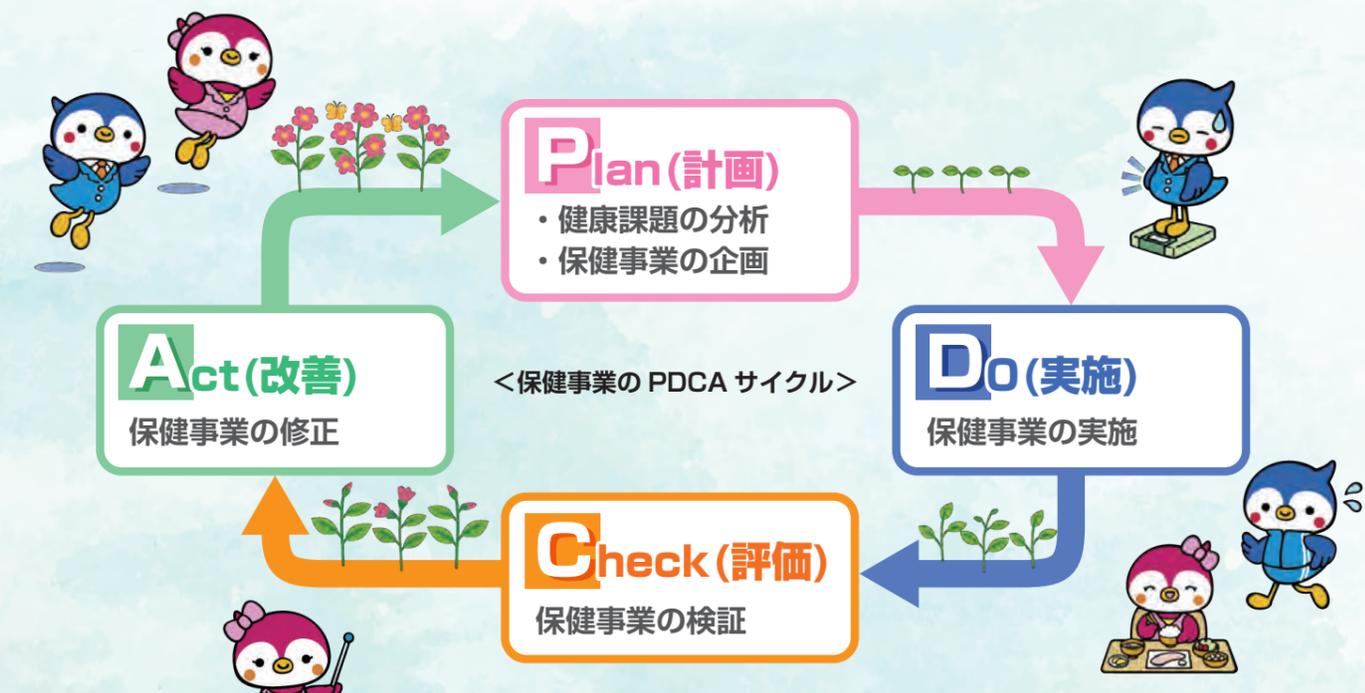
※40歳未満の人間ドック受診者数(受診率)の当支部現在値は平成28年度

(各事業の評価項目及び目標値の設定は、当支部計画書の38～39頁をご覧ください。)

# データヘルス計画スタート!

～かけがえのないあなたの健やかな毎日と家族の笑顔を守るために～

平成27年度から平成29年度の3年間実施してきた「第1期データヘルス計画」に引き続き、平成30年度から平成35年度までの6年間に渡り実施する「第2期データヘルス計画」を開始します。より効果的な保健事業を実施していくために、改めて当支部の現状と課題を確認し、今後の取り組みについて計画を作成しました。当支部は、秋田県教育委員会等との連携・協働を図り、PDCAサイクル(下図)により、データヘルスを推進し、引き続き皆さまの健康づくりを支援してまいります。



## \* データヘルス計画とは \*

医療保険者(共済組合等)が、レセプト(診療報酬明細書)と「特定健診・特定保健指導」のデータ分析により、より効果的な保健事業を実施するための事業計画です。平成25年に国が閣議決定した「日本再興戦略」により、予防、健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりとして「データヘルス計画」が始まりました。この背景には、「少子高齢化」の進展や、それに伴い上昇する「高齢者医療」割合の上昇、「介護」の問題、「生活習慣病に係る医療費の増加」等があげられます。

データヘルス計画の詳細は秋田支部HPをご覧ください

URL <http://www.personnelwelfare.com>

公立学校共済組合秋田支部 検索

お問い合わせは：公立学校共済組合秋田支部(秋田県教育庁福祉課内)

TEL 018-860-5221

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法等の関連法令及び公立学校共済組合個人情報保護規程を遵守し、慎重に取り扱います。



# データ分析から見た秋田支部の現状と今後の取り組み

## ■レセプト情報の分析より

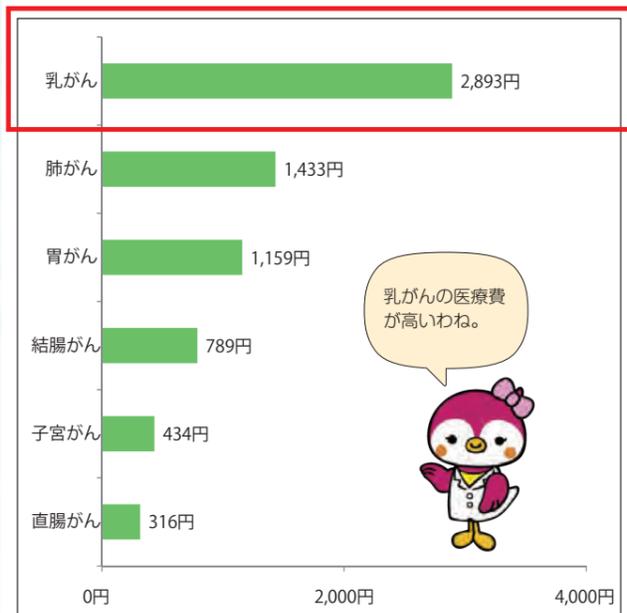
### 生活習慣病における加入者一人当たり医療費の内訳



高血圧、脂質異常、糖尿病、腎不全の医療費が高いなあ。



### がんにおける加入者一人当たり医療費の内訳



乳がんの医療費が高いわね。



(医療費の詳細な分析結果は、当支部計画書の3頁～14頁及び25頁～34頁をご覧ください。)

## ■疾病のタイプ別の特徴と取り組み

### 秋田支部の特徴

#### 生活習慣病

- 加入者一人当たりの医療費をみると、「高血圧性疾患」「脂質異常等」「糖尿病」「腎不全」が高くなっています。
- 特定健康診査の結果から、「肥満」「脂質」「血糖」「高血圧」のリスクを持つ人が多い状況です。
- 問診から、特に「食習慣」「運動習慣や身体活動」「喫煙習慣」「飲酒習慣」の改善に向けた対策の必要性が高くなっています。

### 今後の取り組み

- 新** 40歳の方に、特定健康診査結果について個々に応じた情報提供をします。
- 新** 歯科健診費用の助成を実施します。
- 新** 健康づくりインセンティブ事業を実施します。(H31実施予定)
- 新** 禁煙外来受診費用の助成を実施します。(H31実施予定)

#### 悪性新生物(がん)

- 疾病別の加入者一人当たりの医療費の中で「乳がん」が特に高くなっています。
- 病気にかかっている一人当たりの医療費から「乳がん」「大腸がん」「胃がん」が高く、早期発見・早期治療ができていない可能性があります。

- 新** 所属での乳がんセルフチェック事業を実施します。
  - 引き続き、がん検診の機会提供と必要性を周知していきます。

#### 精神の疾病

経年変化をみると、病気にかかっている人の割合は若干増加していますが、一人当たり医療費は公立学校共済全体の平均より減少しています。このことから、重症者は少なくなっていますが、医療機関への受診者が増えているといえます。

- ストレスに関する知識やストレス解消をテーマに元気力パワーアップ講座を実施します。
- 引き続き、本部ホームページの「心のセルフチェックシステム」、健康相談窓口の年間を通じた情報提供を行います。

(今後実施する事業の詳細は、当支部計画書の別表資料をご覧ください。)

## ■特定健康診査の結果によると生活習慣病対策が必要な方は 64.7% を占めています

まだ医療費が発生していない生活習慣病の潜在的なリスクを確認することを目的に、特定健康診査の結果データを用いて「健康分布図」を作成しました。

肥満・非肥満で区別しない場合、服薬者を除くと、特定健

康診査の結果から何らかの生活習慣病対策が必要な方は、秋田支部では64.7%を占めることがわかりました。(全支部平均では67.4%)

### 秋田支部 (平成27年度)



自覚症状がないままに忍びよる生活習慣病への対策が必要ね。



### 全支部平均 (平成27年度)



## ■被扶養者の特定健康診査の受診率向上が課題です 47支部中 30位

平成27年度目標値86%に対して、秋田支部の組合員本人は90%と高い受診率になっていますが、他支部も高い率を示し、全国平均は89.9%となっています。

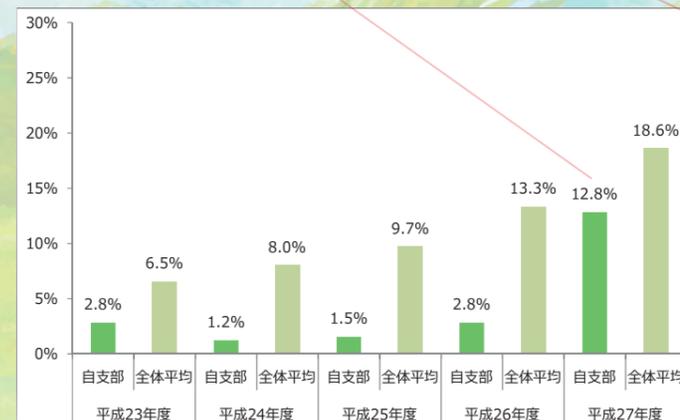
一方、被扶養者は、平成27年度目標値86%に対して、34.7%と低く、全国平均も41.1%と低い受診率となっており、受診率アップが全国的な課題となっています。

## ■特定保健指導の実施率向上が課題です 47支部中 35位

平成27年度目標値30%に対して秋田支部の組合員は12.8%、被扶養者は1.7%と、低い実施率になっており、全体平均を下回っています。

特定保健指導は生活習慣病予防のため、自らの健康状態を自覚し、良い生活習慣を実践してもらおうと実施していることから、実施率の向上が課題となっています。

### 特定保健指導実施率 (組合員)



### 特定保健指導実施率 (被扶養者)



えーっ！こんなに低いの？



(特定健康診査の詳細な分析結果は、当支部計画書の15頁～23頁をご覧ください。)